

## 標準様式例7-2 (コンサルタント)

## (第1回、最終) 契約変更の内容

|                      |  |
|----------------------|--|
| 変更契約年月日              | 令和6年9月26日  |
| 契約業者                 | 日本工営(株)北関東事務所  |
| 契約業者の住所              | 埼玉県さいたま市大宮区宮町2-35  |
| 業務の名称                | R6・R7高崎管内防災カルテ箇所点検他業務  |
| 業務場所                 | 高崎河川国道事務所管内  |
| 業務区分                 | 土木関係建設コンサルタント業務  |
| 業務概要(変更した内容について記述する) | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 防災カルテ点検(R6年度) <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 現地精査等による点検回数の変更(2箇所数量減)</li> <li>2) 出張所の巡回による臨時現地調査(3箇所追加)</li> </ol> </li> <li>2. 道路構造物点検(R6年度) <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 点検支援技術の活用(1箇所追加)</li> <li>2) カルバート緊急調査(91箇所追加)</li> <li>3) 大型カルバートの追加点検(11箇所追加)</li> <li>4) 新三国トンネル緊急点検(1箇所追加)</li> <li>5) 特定土工構造物の点検回数の変更(2箇所数量増)</li> <li>6) 盛土緊急点検追加</li> <li>7) 舗装点検 <ol style="list-style-type: none"> <li>第2車線、登坂車線およびランプ部の舗装点検を追加</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>3. 補修設計(R6年度) <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大型カルバート補修設計(1箇所追加)</li> <li>2) シェッド補修設計(1箇所追加)</li> </ol> </li> </ol>   |
| 履行期間(自)              | 令和6年4月1日   |
| 履行期間(至)              | 令和8年3月31日  |
| 変更前の契約金額             | 151,250,000 円(税込み)   |
| 変更金額                 | 21,604,000 円(税込み)  |
| 変更後の契約金額             | 172,854,000 円(税込み)   |
| 変更理由                 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 防災カルテ点検(R6年度) <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 現地精査等による点検回数の変更<br/>対策済み箇所や更なる変状が認められない箇所の点検回数を見直したため</li> <li>2) 出張所の巡回による臨時現地調査<br/>道路施設に変状がみられる箇所について緊急調査を実施したため</li> </ol> </li> <li>2. 道路構造物点検(R6年度) <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 点検支援技術の活用<br/>高所作業車による点検作業が困難な箇所に新技術を活用したため</li> <li>2) カルバート緊急調査<br/>当事務所で管理しているカルバートの施設数及びその分類を再整理する必要性が生じたため</li> <li>3) 大型カルバートの追加点検<br/>カルバート緊急調査結果に基づき、大型カルバートの点検を追加したため</li> <li>4) 新三国トンネル緊急点検<br/>トンネル内で崩落したコンクリート片等が確認され、高所作業車を活用した追加の叩き落とし点検の必要性が生じたため</li> <li>5) 特定土工構造物の点検回数の変更<br/>沼田管内の特定土工構造物の点検箇所を追加したため</li> <li>6) 盛土緊急点検<br/>盛土高が概ね10m以上の盛土箇所及び、水の集まりやすい地形条件に造成された盛土の緊急点検を追加したため</li> <li>7) 舗装点検<br/>当初設計数量に含まれていない第2車線、登坂車線およびランプ部の舗装点検を追加したため</li> </ol> </li> <li>3. 補修設計(R6年度) <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大型カルバート補修設計<br/>現状の漏水状況を踏まえた補修工法(補修材料含む)を見直す必要性が生じたため</li> <li>2) シェッド補修設計<br/>交通規制等の仮設計画を見直す必要性が生じたため</li> </ol> </li> </ol> |